

令和5年度
公益社団法人 伊勢市観光協会
事業計画

公益社団法人伊勢市観光協会

公益社団法人伊勢市観光協会
令和5年度 事業計画

終わりが見えなかった新型コロナウイルス感染症の波は3年以上にも及び、第8波を数えるに至りました。しかしながら、5月を目処に新型コロナウイルスの感染症法の位置づけがインフルエンザと同等の「5類」へと引き下げられる見通しとなり、コロナ禍後（アフターコロナ期）の観光の在り方を検討し、進めていく次期となっております。令和5年度は、感染対策等が緩和され通常を取り戻しつつある「ウィズコロナ期」から、通常に回帰するが以前とは異なる常識や価値観が介在することになる「アフターコロナ期」への過渡期になると思われま

当会は地域をけん引するDMOとして、その観光と経済を守り発展させていくために、行政や関係団体等と協働し、事業を遂行してまいります。情報発信部会、おもてなし行事部、青年部においては、各担当事業を遂行し、中期政策検討部会は引き続き協会運営について協議を進めてまいります。観光交流伊勢会議実行委員会においては、日本観光祈願祭の斎行と観光交流伊勢会議のあり方について協議を進めます。

令和5年度は、新型コロナウイルスが残した爪痕を癒すと同時に、新しい成長のステージを築き上げていかなければなりません。前回の御遷宮から11年、折り返し地点を過ぎ、次の遷宮諸行事やお木曳などの民俗行事の足音も聞こえてきております。会員の皆様におかれましては、未だ大変な時期であるとは思いますが、協会事業へのご理解とご協力をお願い致します。

公益社団法人伊勢市観光協会
会長 濱田 典保

<公益目的事業－旅客誘致事業>

1 広報宣伝事業（情報発信部会）※括弧内は、事業を中心的に推進していく部署です

新型コロナウイルスの感染拡大を契機として、インターネットを介した情報発信の重要度が今まで以上に高くなっております。当会は、伊勢の知名度をさらに高め、多様化している国内外観光客のニーズに対応でき、オンタイムの観光情報を提供できるホームページを目指しています。また、SNS（Social Networking Service、コミュニティ型の会員制のサービス）を活かしたリアルタイム情報の提供を行っています。

日本観光祈願祭については、開催規模を判断しながら開催し、観光交流伊勢会議については、新たな展開を視野に入れて観光交流伊勢会議実行委員会にて協議してまいります。

伊勢観光御師及び伊勢観光大使事業においては、改めて事業について検証を行いながら今後の事業展開について考えていきます。コロナ禍の影響で延期となっていた、全国規模の新たなネットワーク組織の立ち上げに関しては、札幌市における組織の最初の立ち上げを進めておりましたが、こちらに関しましても事業の検証と新たな展開を考えていきます。

観光PR事業においては、首都圏、北海道での現地観光PRイベントを行います。情報発信部会、青年部を中心としてSNS（Instagram、Facebook、Twitter等）を活用した情報発信を行います。新たにTikTokを活用した情報発信も行います。

外国人観光客誘客事業に関しましては、引き続き国内でのランドオペレーター（日本での手配を受ける会社）との商談会などを活用し情報発信を続けます。

広報宣伝事業におきましては次の事業を行います。

1. ホームページ等、インターネットを利用した観光情報提供（情報発信部会・青年部）
2. SNS等を活用した観光情報提供（情報発信部会・青年部）
3. 観光案内所及び観光サービスセンターにおける観光情報とサービスの提供（情報発信部会・おもてなし行事部会・中期政策検討部会）
4. 行政との観光パンフレットの協働作成及び配布事業（情報発信部会）
5. 観光物産展の物品販売事業と連動したPR誘客活動（情報発信部会・青年部）
6. マスメディアへの資料提供、取材協力、並びに宣伝活動（事務局）
7. 伊勢観光御師及び伊勢観光大使と連携し、ロコミ等による全国発信の強化（情報発信部会）
8. 第56回日本観光祈願祭の開催（観光交流伊勢会議実行委員会）
9. 第16回観光交流伊勢会議の開催（観光交流伊勢会議実行委員会）
10. マスコットキャラクター事業（青年部）
11. 外国人観光客へのPR事業（情報発信部会）
12. 開花情報配信事業（情報発信部会）
13. 期間限定店舗「ISE SHOP」の企画、運営
14. その他広報宣伝事業

2 観光客の誘致接遇事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部）

伊勢市、伊勢商工会議所、伊勢まちづくり株式会社など各関係団体と協働体制をとり、旅客誘致やおもてなし事業を企画推進していきます。

観光案内所の運営については、令和4年12月にリモート案内機能を導入したことで、御遷宮に向けてフレキシブルに案内機能を移動することが可能となり、また非接触での案内となることから感染症に強い案内機能となりました。今年度は実証年度と位置づけ、目前に控えるお木曳の際に効果的な案内機能の提供ができるように進めていきます。

レンタサイクル事業に関しては、シティサイクル、電動アシスト自転車及びE-バイクの運用を行い、OTAの活用、旅行商品への展開（JR ずらし旅）など更なる利用促進を図ります。ガイド事業に関しては、先進事例を参考に、地域で稼ぐスタイルを検討するとともに、崇高な理念のもとボランティアで活動するお伊勢さん観光ガイドの会の支援も継続しながら、効果的なガイド事業を目指します。

外国人誘客（インバウンド）事業では、再始動を始めたインバウンドに鑑み、インバウンド委員会を中心に海外への情報発信・誘客を考えていきます。今年度はシンガポールへの現地PRを中心として事業を実施する予定です。

昨年度、感染症対策と混雑緩和策として市内5か所に設置した「非接触型タッチパネル搭載のデジタルサイネージ」では、引き続き市内観光地の混雑状況及び観光情報の配信を行います。

手荷物事業では、全体的な利用促進を図ると共に、円滑な運営をめざします。

観光客の誘致接遇事業におきましては次の事業を行います。

1. レンタサイクル事業（青年部）
2. 観光案内所の運営（案内所）
3. ガイド事業（おもてなし行事部）
4. 各種大会等の誘致接遇協力（おもてなし行事部）
5. 歓迎塔、歓迎看板等の設置（事務局）
6. 伝統芸能振興協力（事務局）
7. 外国人観光客誘致事業（情報発信部会、インバウンド委員会）
8. 行政並び関係機関との次期御遷宮へ向けた協働事業（全体事業）
9. 伊勢市駅手荷物預かり所、外宮前観光案内所における手荷物事業（中期政策検討部会）
10. 伊勢市駅手荷物預かりにおける手荷物ホテル配送事業（中期政策検討部会）
11. デジタルサイネージを活用した混雑情報の配信（情報発信部会）
12. その他誘致接遇事業

3 企画調査と組織事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部、中期政策検討部会）

国・県・市の各関係機関から観光情報を取り入れ、観光に関する動向の調査・研究を行い、地域における観光誘致事業のあり方を考察し、特色ある観光地づくりの研究を行います。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 新しい観光地づくりの調査・研究（青年部、情報発信部会、中期政策検討部会）
2. 伊勢観光御師及び伊勢観光大使制度の充実の為の企画調査（情報発信部会）
3. 先進観光地の研究、視察
（青年部、おもてなし行事部、情報発信部会、中期政策検討部会）
4. 外宮周辺の活性化対策への協力（青年部、おもてなし行事部）
5. 青年部活動と協働（青年部、親会）
6. 観光振興研修事業（おもてなし行事部）
7. その他

4 観光行事事業（おもてなし行事部、中期政策検討部会、青年部）

伊勢市の伝統、文化を守り継承していく行事を支援し、伊勢を訪れる観光客に伊勢の魅力伝え、再来訪や情報発信に繋がります。併せて観光事業を通じて関係各団体と連携を図り観光振興、発展に努めます。

二見浦海水浴場の運営については、護岸工事終了により通常通りの開設を行う予定です。絆体験を中心とした二見地区での体験メニュー造成を行い観光客の滞在時間延伸に寄与する事業を行います。

また、委託事業として伊勢市ふるさと応援寄附金寄附者への返礼品発送業務、返礼品手配に関する事務を受託します。また、返礼品の新規開拓、ポータルサイトへの登録及びPR業務も行います。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 伊勢神宮奉納全国花火大会（おもてなし行事部）
2. 二見浦海水浴場浜開き式及び運営（おもてなし行事部）
3. 二見ビーチを活用したイベントの開催（おもてなし行事部）
4. 二見地区を中心とした体験メニューの造成及び販売（おもてなし行事部）
5. 神宮観月会に併せた観月茶会の開催（おもてなし行事部）
6. 初穂曳への協力（おもてなし行事部）
7. 冬至の奉納（おもてなし行事部）
8. 越年行事 伊勢神宮奉納餅つきと年越餅の贈呈（おもてなし行事部）
9. 伊勢楽市開催協力（青年部）
10. 御幣鯛奉祝事業（おもてなし行事部）
11. 伊勢まつりへの協力（おもてなし行事部）

- 1 2. 伊勢市ふるさと応援寄附金 PR および発送業務（中期政策検討部会）
- 1 3. 電動モビリティを活用した市内周遊事業の促進（中期政策検討部会）
- 1 4. その他各種団体行事への協力（おもてなし行事部）

5 関連団体への協力及び事業の推進

先の神宮式年遷宮から10年が過ぎ、次期遷宮へ向けた対策や事業等の検討を始める時期が来ております。当会は伊勢御遷宮委員会の要員として、来る「お木曳」や「お白石持」等の民俗行事の遂行に協力をしていきます。

その他、関連団体の中枢会員として、観光振興に関わる事業への協力並びに諸施策の推進を図ります。引き続き、伊勢志摩地域の関係団体等との連携を図り、広域的な観光を目指す方向で検討していきます。

以下の事業団体へ協力及び事業推進を図ります。

1. 伊勢御遷宮委員会
2. 伊勢商工会議所
 - ・伊勢市中心市街地活性化協議会
 - ・伊勢音頭発展会
 - ・伊勢うどん協議会
3. (公社) 伊勢志摩観光コンベンション機構
 - ・伊勢志摩学生団体誘致委員会
 - ・伊勢志摩観光企画委員会
 - ・伊勢志摩フィルムコミッション
 - ・伊勢志摩インバウンド担当者会議
4. (一財) 伊勢志摩国立公園協会
5. (公社) 三重県観光連盟
6. 伊勢市国際交流協会
7. (公社) 日本観光振興協会
8. 伊勢まちづくり株式会社
9. 伊勢青年団体連絡協議会
10. おもてなしヘルパー推進会議
11. 伊勢地域観光交通対策協議会
12. いせでわDMO（山形県主導事業）
13. 三重県観光・地域活性化協議会（REVIC）
14. スマートシティ伊勢推進協議会
15. その他団体との協力、連携

6 協賛または後援行事

伊勢市内で開催される各種行事の観光客誘致については賛同し、協賛及び後援をしていきます。

次の各種行事に協賛または後援をしていきます。

1. 猿田彦神社御田祭及び七五三祭
2. 倭姫宮例大祭(春・秋は「ご鎮座100周年記念奉祝行事」も予定)
3. 伊勢高柳の夜店
4. 二見大祭しめなわ曳
5. 外宮奉納市
6. 外宮さんゆかたで千人お参り
7. 伊勢神宮奉納選抜社会人野球伊勢大会
8. 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会
9. 伊勢まつり
10. おひなさまめぐり in 二見
11. 全日本大学駅伝対校選手権大会
12. 伊勢神宮奉納全日本学生弓道王座決定戦
13. 伊勢神宮奉納書道展
14. お伊勢さんマラソン
15. 松尾観音寺初午大祭
16. 神宮奉納大相撲
17. 金剛證寺開山忌
18. その他 協会が認める観光事業

<収益事業> (中期政策検討部会、青年部)

公益目的事業遂行の為の資金調達及び誘客の為の情報発信を目的として下記の事業を行います

1 賃貸事業

伊勢市駅前ビルの賃貸事業に加え、風餐亭1F研修室を使った賃貸事業の今後を検討します。伊勢市駅前ビルにおいては、老朽化による修繕を効果的に実施していきます。

2 物品販売事業 (青年部、中期政策検討部会)

ECサイトを使った情報発信と収益事業。インターネット通販(ECサイト)の拡充と各地イベントなどへの出店をしていきます。

伊勢市ふるさと応援寄附金については、行政と協働し情報発信や広報の充実や返礼品の商品開拓を図ります。

3 会員互助事業（情報発信部会、中期政策検討部会、青年部）

会報誌「ええじゃないか伊勢」の発行を行います。同時に会員互助事業についても事業企画等を行います。併せて、会員への迅速な情報共有を目指します。FAXでの情報配信を見直し、メール等の配信に切り替えていきます。SNS等の活用の検討を行います。

<本部事業>

1 中期政策検討部会

協会の運営や事業、その方向性などについて検討し、理事会へ提言していきます。本年度はさらに事業等の統廃合などの見直しを進め、コスト削減や運営の効率化を図ります。健全な協会運営に役立てます。

地域の観光をマネジメントする組織として、地域DMO (Destination Management Organization)を取得し、伊勢市観光振興課・伊勢市観光誘客課、伊勢まちづくり株式会社とともに、「伊勢市全体の観光運営」に関し検討していきます。

収支予算書内訳表(正味財産増減予算書内訳表)

令和5年4月1日から令和6年3月31日

単位(円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費				
正会員受取会費	6,000,000	250,000	5,750,000	12,000,000
②事業収益				
賃貸収入	4,500,000	4,420,000	0	8,920,000
物品販売収入	0	4,140,000	0	4,140,000
受託事業収入	32,822,360	23,674,000	0	56,496,360
手荷物預り事業収入	28,099,000	0	0	28,099,000
バナー広告収入	1,000,000	0	0	1,000,000
事業収益計	66,421,360	32,234,000	0	98,655,360
③受取負担金				
受取負担金	14,529,245	0	6,810,000	21,339,245
④受取寄付金				
受取寄付金	0	0	0	0
受取寄付金振替額	486,255	607,819	1,337,201	2,431,275
⑤雑収益	1,060,000	65,000	0	1,125,000
経常収益計	88,496,860	33,156,819	13,897,201	135,550,880
(2) 経常費用				
①事業費				
役員報酬	2,240,000	160,000		2,400,000
給料手当	17,976,816	539,168		18,515,984
臨時雇賃金	12,212,200	1,210,000		13,422,200
福利厚生費	5,507,592	248,052		5,755,644
旅費交通費	3,177,660	9,000		3,186,660
通信運搬費	1,777,740	708,840		2,486,580
減価償却費	1,652,009	868,775		2,520,784
消耗品費	3,126,800	942,800		4,069,600
修繕費	801,000	1,006,000		1,807,000
印刷製本費	7,003,100	688,200		7,691,300
燃料費	40,800	4,800		45,600
光熱水料費	624,120	53,720		677,840
賃借料	2,126,950	197,700		2,324,650
保険料	379,560	291,060		670,620
諸謝金	110,000	0		110,000
租税公課	4,048,600	4,313,250		8,361,850
支払負担金	1,801,880	11,280		1,813,160
委託費	32,794,180	9,101,960		41,896,140
会議費	1,076,500	159,000		1,235,500
渉外費	390,500	9,000		399,500
物品仕入高	0	3,519,000		3,519,000
雑費	701,000	471,000		1,172,000
事業費計	99,569,007	24,512,605		124,081,612

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
②管理費				
役員報酬			1,600,000	1,600,000
給料手当			2,646,216	2,646,216
福利厚生費			936,356	936,356
会議費			64,500	64,500
旅費交通費			64,500	64,500
通信運搬費			565,020	565,020
減価償却費			1,554,446	1,554,446
消耗品費			163,400	163,400
修繕費			43,000	43,000
印刷製本費			51,600	51,600
燃料費			34,400	34,400
光熱水料費			134,160	134,160
賃借料			320,350	320,350
保険料			110,080	110,080
租税公課			360,150	360,150
支払負担金			80,840	80,840
委託費			522,880	522,880
渉外費			64,500	64,500
雑費			150,500	150,500
管理費計	0	0	9,466,898	9,466,898
経常費用計	99,569,007	24,512,605	9,466,898	133,548,510
評価損益等調整前当期経常	△ 11,072,147	8,644,214	4,430,303	2,002,370
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 11,072,147	8,644,214	4,430,303	2,002,370
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
建物解体積立支出	1,000,000	1,000,000		
経常外費用計	1,000,000	1,000,000	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	3,387,003	△ 3,387,003	0	0
税引前当期一般正味財産増	△ 8,685,144	4,257,211	4,430,303	2,370
法人税、住民税及び事業税	0	72,000	0	72,000
当期一般正味財産増減額	△ 8,685,144	4,185,211	4,430,303	△ 69,630
一般正味財産期首残高				42,379,058
一般正味財産期末残高				42,309,428
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	486,255	607,819	1,337,201	2,431,275
寄付金振替額(指)	486,255	607,819	1,337,201	2,431,275
当期指定正味財産増減額	△ 486,255	△ 607,819	△ 1,337,201	△ 2,431,275
指定正味財産期首残高				78,816,451
指定正味財産期末残高				76,385,176
III 正味財産期末残高				118,694,604

(注) 貸借対照表内訳表を作成していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高及び正味財産期末残高は合計欄のみを記載している。

収支予算書内訳表(正味財産増減予算書内訳表)

令和5年4月1日から令和6年3月31日

単位(円)

科目	公益目的 事業等会計	収益事業 会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取会費			
正会員受取会費	11,750,000	250,000	12,000,000
②事業収益			
賃貸収入	4,500,000	4,420,000	8,920,000
物品販売収入	0	4,140,000	4,140,000
受託事業収入	32,822,360	23,674,000	56,496,360
手荷物預り事業収入	28,099,000	0	28,099,000
バナー広告収入	1,000,000	0	1,000,000
事業収益計	66,421,360	32,234,000	98,655,360
③受取負担金			
受取負担金	21,339,245	0	21,339,245
④受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金振替額	1,823,456	607,819	2,431,275
⑤雑収益	1,060,000	65,000	1,125,000
経常収益計	102,394,061	33,156,819	135,550,880
(2) 経常費用			
①事業費			
役員報酬	2,240,000	160,000	2,400,000
給料手当	17,976,816	539,168	18,515,984
臨時雇賃金	12,212,200	1,210,000	13,422,200
福利厚生費	5,507,592	248,052	5,755,644
旅費交通費	3,177,660	9,000	3,186,660
通信運搬費	1,777,740	708,840	2,486,580
減価償却費	1,652,009	868,775	2,520,784
消耗品費	3,126,800	942,800	4,069,600
修繕費	801,000	1,006,000	1,807,000
印刷製本費	7,003,100	688,200	7,691,300
燃料費	40,800	4,800	45,600
光熱水料費	624,120	53,720	677,840
賃借料	2,126,950	197,700	2,324,650
保険料	379,560	291,060	670,620
諸謝金	110,000	0	110,000
租税公課	4,048,600	4,313,250	8,361,850
支払負担金	1,801,880	11,280	1,813,160
委託費	32,794,180	9,101,960	41,896,140
会議費	1,076,500	159,000	1,235,500
渉外費	390,500	9,000	399,500
物品仕入高	0	3,519,000	3,519,000
雑費	701,000	471,000	1,172,000
事業費計	99,569,007	24,512,605	124,081,612

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	合計
②管理費			
役員報酬	1,283,916	316,084	1,600,000
給料手当	2,123,450	522,766	2,646,216
福利厚生費	751,377	184,979	936,356
会議費	51,758	12,742	64,500
旅費交通費	51,758	12,742	64,500
通信運搬費	453,399	111,621	565,020
減価償却費	1,247,362	307,084	1,554,446
消耗品費	131,120	32,280	163,400
修繕費	34,505	8,495	43,000
印刷製本費	41,406	10,194	51,600
燃料費	27,604	6,796	34,400
光熱水料費	107,656	26,504	134,160
賃借料	257,064	63,286	320,350
保険料	88,333	21,747	110,080
租税公課	289,002	71,148	360,150
支払負担金	64,870	15,970	80,840
委託費	419,584	103,296	522,880
渉外費	51,758	12,742	64,500
雑費	120,768	29,732	150,500
管理費計	7,596,691	1,870,207	9,466,898
経常費用計	107,165,698	26,382,812	133,548,510
評価損益等調整前当期経常	△ 4,771,637	6,774,007	2,002,370
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,771,637	6,774,007	2,002,370
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
建物解体積立支出	1,000,000	1,000,000	
経常外費用計	1,000,000	1,000,000	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	3,387,003	△ 3,387,003	0
税引前当期一般正味財産増	△ 2,384,633	2,387,003	2,370
法人税、住民税及び事業税	0	72,000	72,000
当期一般正味財産増減額	△ 2,384,633	2,315,003	△ 69,630
一般正味財産期首残高			42,379,058
一般正味財産期末残高			42,309,428
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	1,823,456	607,819	2,431,275
寄付金振替額(指)	1,823,456	607,819	2,431,275
当期指定正味財産増減額	△ 1,823,456	△ 607,819	△ 2,431,275
指定正味財産期首残高			78,816,451
指定正味財産期末残高			76,385,176
III 正味財産期末残高			118,694,604

(注) 貸借対照表内訳表を作成していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高及び正味財産期末残高は合計欄のみを記載している。

資金調達及び設備投資の見込みについて(案)

【令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)】

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業区分	借入先	金額		用途	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業区分	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達の方法	